

茨城県の農林水産業の概要

特徴・取組

茨城県は、東京から北東40～160kmに位置し、県北地域の一部を除いて平坦であり耕地は広大である。また、太平洋に面する長い海岸線と、琵琶湖に次いで全国2番目に大きな湖である霞ヶ浦を有している。

気候は温暖で様々な植物の南限北限の境になっている。このような気象条件等を生かし、数多くの農林水産物が生産されている。

茨城県は、農業はもとより、広大な土地と首都圏に近い等の恵まれた条件により、大手食品製造企業（加工食品、飲料等）をはじめ、非鉄金属（電線やケーブル等）、電気機械（発電機等）、化学産業（石油化学製品等）、鉄鋼等を中心とした製造業が盛んであり、製造製品の出荷額で全国第7位の工業県となっている。

農業産出額は、平成30年は全国第3位で、東京都中央卸売市場における県産品の青果物取扱高は平成16年から16年連続全国第1位である。れんこん、みずな、はくさい、ちんげんさい、メロン、ピーマン、くり、こまつな、鶏卵、かんしょ、米など生産量で全国上位を占める農畜産物が多い。

地理的表示（GI）保護制度については、「江戸崎かぼちゃ」、「飯沼栗」、「水戸の柔甘ねぎ（みとのやわらかねぎ）」に続き、平成30年度には「奥久慈しゃも」が登録された。

林業は、県北部の山間地域を中心に、主として、すぎ、ひのきの木材生産が行われている。

水産漁業は、黒潮と親潮が交わる茨城沖が好漁場となっており、いわし、さば等を主体に多様な魚介類が水揚げされている。

茨城県では、儲かる農業を実現するため、国内外で需要が拡大しているかんしょの生産拡大や、牛肉「常陸牛」のブランド力向上と儲かる経営体の育成に向けた、和牛繁殖雌牛の増頭や能力向上の支援に取り組んでいる。

加えて、なし「恵水」及び豚肉「常陸の輝き」をトップブランドとして育成し、重点的にPR。

平成30年度の農産物輸出額は、かんしょ、なし、米、常陸牛の増加により、過去最高額を記録した。

主な農林水産物

れんこん

霞ヶ浦周辺で広域に栽培されており、収穫量は全国の約5割を占める。
(収穫量全国1位)



みずな

鹿行(ろっこう)地域を中心に県内全域から周年出荷されている。収穫量は全国の約5割を占める。
(収穫量全国1位)



はくさい

県西地域を中心に栽培されており、秋冬から春まで長期間出荷されている。
(収穫量全国1位)



ピーマン

温暖な気候と水はけの良い土壌に恵まれた鹿行(ろっこう)地域を中心に周年出荷されている。
(収穫量全国1位)



くり

県央・県南地域が主産地。低温熟成し、甘みを増した貯蔵果も出荷されている。
(収穫量全国1位)



メロン

鹿行(ろっこう)地域を中心に、多彩な品種が栽培され、アジアを中心に輸出されている。
(収穫量全国1位)



鶏卵

古くから養鶏産業が盛んで、全国でも有数の産地となっている。
(生産量全国1位)



かんしょ

海岸沿いの水はけの良い平坦な地域を中心に栽培され、加工品を中心に国内外での需要が増加している。
(収穫量全国2位)



ひらめ

茨城県のさかなとして選定されており、肉厚で脂質の量が最大の冬(12月～2月)が旬となる。
(漁獲量全国6位)



米

全国有数の産地で、近年、県が育成した新品種ふくまるの生産拡大に取り組んでいる。
(収穫量全国7位)



茨城県における農林水産物の主な産地

県央地域

【農産物】 かんしょ（干しいも）、にら、メロン、くり（GI飯沼栗）、いちご、ねぎ（GI水戸の甘柔ねぎ）、ほうれんそう、きゅうり、なす、日本なし、そば
 【水産物】 しじみ、鹿島灘はまぐり、しらす、ひらめ

県西地域

【農産物】 レタス、はくさい、ねぎ、キャベツ、日本なし、きゅうり、こだますいか、メロン、スイートコーン、茶、そば、トマト、かぼちゃ、カリフラワー

県南地域

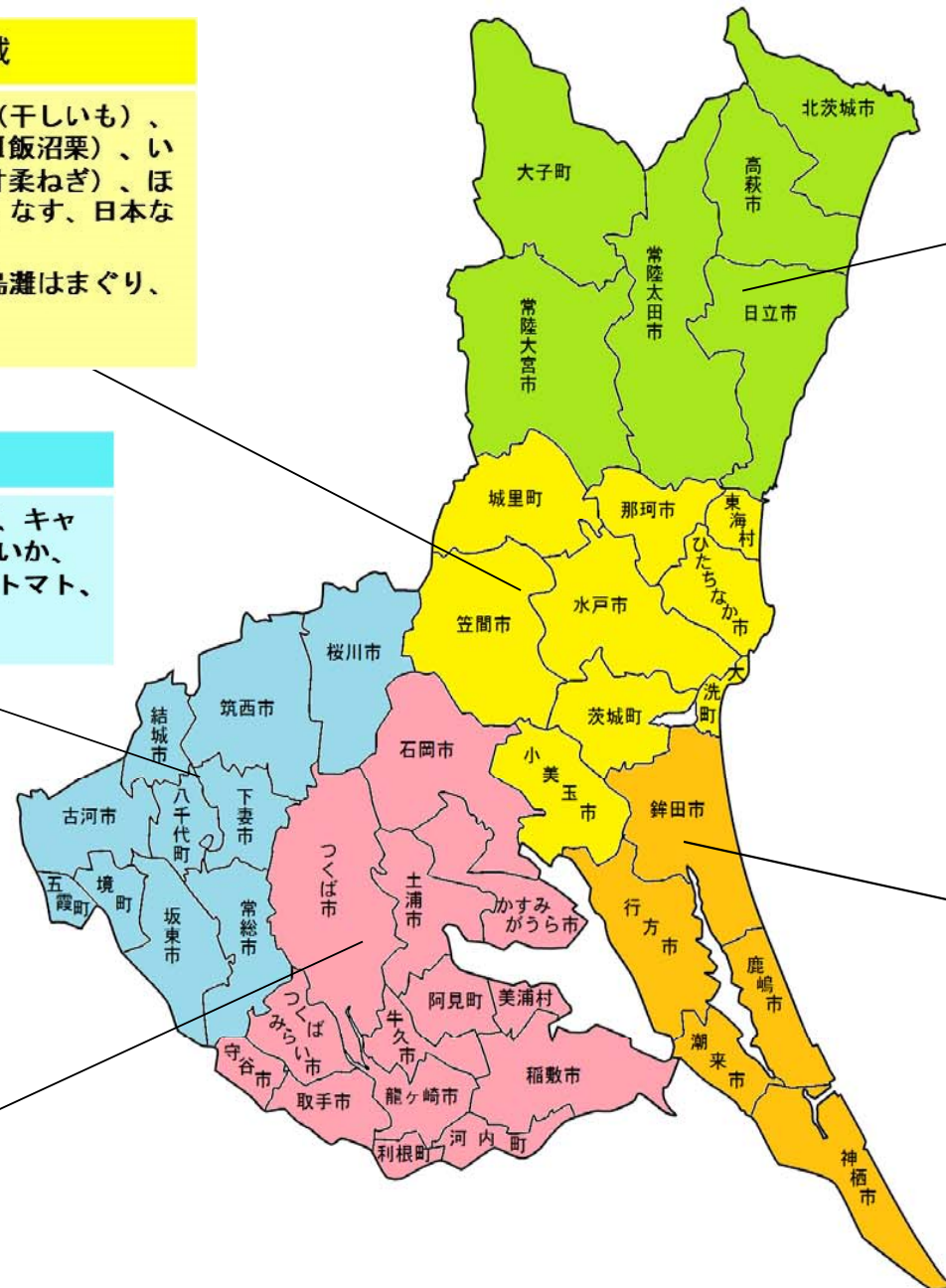
【農畜産物】 れんこん、日本なし、ぶどう、芝、ねぎ、きゅうり、らっかせい、かぼちゃ（GI江戸崎かぼちゃ）、すいか、いちご、ブルーベリー、くり、肉用鶏
 【林産物】 原木しいたけ、ひらたけ、なめこ
 【水産物】 わかさぎ、うなぎ、しらうお、淡水真珠、えび類（内水面）、こい（養殖）

県北地域

【農畜産物】 りんご、ぶどう、ねぎ、切り枝（切り花類）、なす、そば、茶、シクラメン、肉用鶏（GI奥久慈しゃも）
 【林産物】 原木しいたけ
 【水産物】 まいわし、さば類、あんこう、しらす、ひらめ、あゆ

鹿行（ろっこう）地域

【農産物】 メロン、かんしょ、ピーマン、いちご、みずな、ごぼう、ほうれんそう、そらまめ、みつば、せり、れんこん、ちんげんさい、こまつな、しゅんぎく、センリョウ、まつ（低木、切り枝は正月の縁起物）
 【林産物】 ぶなしめじ、まいたけ、エリンギ、生きくらげ
 【水産物】 まいわし、さば類、しらす、ひらめ、鹿島灘はまぐり、わかさぎ、しらうお、えび類（内水面）、こい（養殖）



茨城県の農業（１）

- ・耕地面積は16万4,600haで、北海道、新潟県に次いで全国第3位である。
- ・総農家数は8万7,678戸で、長野県に次いで全国第2位である。
- ・基幹的農業従事者数に占める男女の内訳は、男4万3,366人、女3万3,455人で、いずれも北海道に次いで全国第2位である。また、65歳以上は4万9,043人で、長野県に次いで2位である。

耕地面積

区分	茨城県	全国	全国順位
耕地面積	164,600 ha	4,397,000 ha	3
田	96,400 ha	2,393,000 ha	6
畑	68,200 ha	2,004,000 ha	4
普通畑	61,700 ha	1,134,000 ha	3
樹園地	6,160 ha	273,100 ha	12
牧草地	382 ha	596,800 ha	26
参考) 総土地面積	609,739 ha	37,797,524 ha	24

出典：「令和元年耕地面積(7月15日現在)」、「令和元年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省 国土地理院)

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	茨城県	全国	全国順位
農業経営体数	57,989 経営体	1,377,266 経営体	1
法人経営	660 経営体	27,101 経営体	12
総農家数	87,678 戸	2,155,082 戸	2
販売農家	57,239 戸	1,329,591 戸	1
主業農家	12,196 戸	293,928 戸	4
参考) 世帯総数	1,124,349 世帯	53,448,685 世帯	13
集落営農数	147 集落営農	14,949 集落営農	30

出典：「2015年農林業センサス(平成27年2月1日現在)」、「平成27年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(平成31年2月1日現在)」

荒廃農地面積

区分	茨城県	全国	全国順位
荒廃農地面積	11,195 ha	279,970 ha	9

出典：「平成30年の都道府県別の荒廃農地面積」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	茨城県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	76,821 人	1,753,764 人	2
男	43,366 人	1,004,716 人	2
女	33,455 人	749,048 人	2
65歳以上	49,043 人	1,132,072 人	2
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	63.8 %	64.6 %	-
認定農業者数	8,603 経営体	239,043 経営体	7
法人数	658 法人	24,965 法人	13
参考) 総人口数	2,916,976 人	127,094,745 人	11

出典：「2015年農林業センサス(平成27年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(平成31年3月末現在)」、「平成27年国勢調査」(総務省統計局)

担い手への農地の集積状況

区分	茨城県	全国	全国順位
担い手への集積面積	56,724 ha	2,485,707 ha	9
集積率	34.2 %	56.2 %	27

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(平成30年度版)」

注：農地中間管理機構を介さないものを含む。
平成31年3月末の数値である。

令和2年3月1日時点における最新の統計等の公表データを使用

茨城県の農業（２）

- ・農業産出額は4,508億円で、北海道、鹿児島に次いで全国第3位である。
- ・農畜産物の生産状況は、れんこん、みずな、はくさい、ちんげんさい、メロン、ピーマン、くり、こまつな、カリフラワーの収穫量及び鶏卵の生産量が全国第1位である。
- ・農業者等による生産関連事業は、農産物直売所の年間販売金額が363億2,800万円で全国第8位である。

農業産出額

区分	茨城県	全国	全国順位
農業産出額	4,508 億円	91,283 億円	3
米	868 億円	17,513 億円	4
麦類	5 億円	414 億円	10
雑穀	7 億円	94 億円	4
豆類	16 億円	637 億円	7
いも類	274 億円	1,976 億円	2
野菜	1,708 億円	23,212 億円	2
果実	112 億円	8,406 億円	21
花き	137 億円	3,327 億円	7
工芸農作物	11 億円	1,786 億円	20
その他作物	11 億円	715 億円	16
畜産	1,277 億円	32,589 億円	6
肉用牛	164 億円	7,416 億円	13
乳用牛	209 億円	9,339 億円	8
生乳	183 億円	7,473 億円	8
豚	405 億円	6,104 億円	6
鶏	497 億円	8,999 億円	4
鶏卵	449 億円	4,848 億円	1
ブロイラー	27 億円	3,608 億円	22
その他畜産物	2 億円	731 億円	24
加工農産物	83 億円	615 億円	3

農畜産物の生産状況

区分	年次	茨城県	全国	全国順位
れんこん	収穫量	H30 29,500 t	61,300 t	1
みずな	収穫量	H30 21,000 t	43,100 t	1
はくさい	収穫量	H30 236,200 t	889,900 t	1
ちんげんさい	収穫量	H30 11,700 t	42,000 t	1
メロン	収穫量	H30 40,200 t	152,900 t	1
ピーマン	収穫量	H30 33,400 t	140,300 t	1
くり	収穫量	H30 4,400 t	16,500 t	1
こまつな	収穫量	H30 20,000 t	115,600 t	1
カリフラワー	収穫量	H30 2,310 t	19,700 t	1
鶏卵	生産量	H30 224,245 t	2,627,764 t	1

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「畜産物流通統計」、「果樹生産出荷統計」

農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区分	茨城県	全国	全国順位	
農産物の加工	総額	11,471 百万円	941,262 百万円	25
	事業体数	1,000 事業体	27,920 事業体	7
農産物直売所	総額	36,328 百万円	1,079,020 百万円	8
	事業体数	670 事業体	23,940 事業体	11
観光農園	総額	1,521 百万円	40,159 百万円	10
	経営体数	260 経営体	6,590 経営体	9
農家民宿	総額	13 百万円	5,734 百万円	39
	経営体数	10 経営体	2,040 経営体	32
農家レストラン	総額	434 百万円	38,260 百万円	33
	事業体数	30 事業体	1,560 事業体	16

出典：「平成29年度6次産業化総合調査」

注：「農家民宿」及び「農家レストラン」の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

出典：「平成30年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「麦類」、「その他作物」及び「ブロイラー」の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和2年3月1日時点における最新の統計等の公表データを使用

茨城県の林業

- ・ 林業産出額は71億6,000万円です。産出額の内訳は、木材生産が43億2,000万円、栽培きのこ類生産が28億3,000万円です。
- ・ 林産物の生産状況は、生きくらげ類が全国第3位、ひらたけが4位、ぶなしめじとエリンギが6位、まいたけが7位です。
- ・ 製材工場数は102工場です。国産材のみの工場は91工場です。

林野面積

区分	茨城県	全国	全国順位
林野面積	190,029 ha	24,802,277 ha	39
国有林	43,484 ha	7,175,516 ha	21
民有林	146,545 ha	17,626,761 ha	40
人工林面積	111,106 ha	10,203,842 ha	35

出典：「2015年農林業センサス(平成27年2月1日現在)」「森林資源の現況」(平成29年3月31日現在)

林業経営体数

区分	茨城県	全国	全国順位
林業経営体数	1,266 経営体	87,284 経営体	31
法人経営	38 経営体	5,599 経営体	39

出典：「2015年農林業センサス(平成27年2月1日現在)」

林業産出額

区分	茨城県	全国	全国順位
林業産出額	71.6 億円	4,628.5 億円	22
木材生産	43.2 億円	2,278.7 億円	18
栽培きのこ類生産	28.3 億円	2,256.6 億円	21

出典：「平成30年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

林産物の生産状況

区分	茨城県	全国	全国順位
素材生産量	405 千m ³	21,640 千m ³	17
針葉樹	373 千m ³	19,462 千m ³	17
あかまつ・くろまつ	5 千m ³	628 千m ³	15
広葉樹	32 千m ³	2,178 千m ³	17
生きくらげ類	生産量 124 t	1,234 t	3
ひらたけ	生産量 298 t	4,001 t	4
ぶなしめじ	生産量 3,005 t	117,966 t	6
エリンギ	生産量 636 t	39,413 t	6
まいたけ	生産量 241 t	49,687 t	7

出典：「平成30年木材統計」、「平成30年特用林産基礎資料」

注：素材生産量を除く順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

製材工場数

区分	茨城県	全国	全国順位
工場数	102 工場	4,582 工場	20
製材用素材の入荷があった工場数	102 工場	4,551 工場	20
国産材のみ	91 工場	3,521 工場	15
国産材と輸入材	8 工場	792 工場	35

出典：「平成30年木材統計」

令和2年3月1日時点における最新の統計等の公表データを使用

茨城県の漁業

- ・海面漁業・養殖業産出額は228億円で、全国第19位である。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業で、まいわし、さば類、内水面漁業で、えび類、内水面養殖業で、こいが全国第1位である。
- ・漁業者等による生産関連事業は、水産物の加工の年間販売金額が36億1,900万円で、全国第11位である。

漁船隻数

区分	茨城県	全国	全国順位
漁船隻数	465 隻	132,201 隻	37
動力漁船	371 隻	69,920 隻	35

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

注： 漁船隻数は、海面漁業経営体が漁業生産のために使用した漁船の数である。

漁業経営体数

区分	茨城県	全国	全国順位
海面漁業経営体数	343 経営体	79,067 経営体	37
内水面漁業経営体数	288 経営体	4,772 経営体	5

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業就業者数

区分	茨城県	全国	全国順位
海面漁業就業者数	1,194 人	151,701 人	32
男	1,132 人	134,186 人	31
女	62 人	17,515 人	32

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業産出額

区分	茨城県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	228 億円	14,593 億円	19

出典：「平成29年漁業産出額」

水産物の生産状況

区分	茨城県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	x t	4,364,327 t	-
海面漁業漁獲量	259,031 t	3,359,456 t	3
まいわし	139,214 t	522,378 t	1
さば類	104,273 t	541,975 t	1
内水面漁業・養殖業生産量	3,739 t	56,806 t	5
内水面漁業漁獲量	2,520 t	26,957 t	4
えび類	253 t	409 t	1
内水面養殖業収獲量	1,219 t	29,849 t	7
こい	1,063 t	2,932 t	1

出典：「平成30年漁業・養殖業生産統計」

注： 1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業経営体の生産量である。

2 海面漁業漁獲量を除く順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区分	茨城県	全国	全国順位
水産物の加工	3,619 百万円	174,481 百万円	11
総額	3,619 百万円	174,481 百万円	11
事業体数	10 事業体	1,520 事業体	30

出典：「平成29年度6次産業化総合調査」

注： 順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和2年3月1日時点における最新の統計等の公表データを使用

所得向上のため 誰もが認めるトップブランドを育成

トップブランド育成のため、なし「恵水」及び豚肉「常陸の輝き」を対象を絞り重点的にPRを行っている。都内高級果実専門店等でのフェア開催、メディア等を活用した情報発信の強化などに取り組んでいる。

牛肉「常陸牛」を対象にブランド力向上と儲かる経営体を育成するため、和牛繁殖雌牛の増頭や能力向上を支援し、平成26年のベトナムを皮切りに輸出がはじまり、一昨年からアメリカでのトップセールスを展開し、世界トップブランドを目指して、戦略的に販路拡大を進めている。



なし「恵水」
糖度は13度以上と高く、酸味が少ないのが特長。日持ちが良く贈り物にも適している。



豚肉「常陸の輝き」
茨城県産の豚を交配して生産。専用飼料を給与し、旨味豊かで香りの良い肉質を実現。

儲かる農業の実現を後押し 「かんしょ」の生産拡大

茨城県は平成30年の農業産出額で全国第3位の屈指の農業県であるが、裾野が広く農家戸数も多いため、販売農家1戸当たりの農業所得は全国第11位である。このため、県では生産性の向上や付加価値の向上、販路開拓の取組を支援している。

「茨城県産かんしょ」の需要が国内外で拡大しているため、農地の確保や生産機械等の整備、加工業者・輸出業者等のマッチング等、農家支援策を拡充しながら生産拡大を重点的に支援している※。

※ 茨城かんしょトップランナー産地拡大事業15.3億円（前年度補正3.6億円）

攻めの農業 奏功 農産物輸出で過去最高額を記録

平成30年度の茨城県農産物輸出額は、前年比171%の546百万円と過去最高を記録。かんしょ、なし、米、常陸牛が輸出額の増加に寄与している。「JA常総ひかり」が、なしの輸出を牽引しており、平成30年度にはベトナム向けなしの輸出150トンを実現し、同国での日本産なしの約84%のシェアを占める（茨城県グローバル戦略チーム調べ）。

かんしょは、「JAなめがたしおさい甘藷部会連絡会」が平成29年度からカナダへの輸出を開始し「なめがたかんしょ」として好評を得ている。昨年夏には、食材の良さをPRするため、フランス現地の料理人やパティシエ等に向けた試食会を実施し、新たな市場の開拓にも取り組んでいる。



牛肉「常陸牛」
指定生産者の磨かれた飼育管理技術と厳選された飼料により、30か月間育てられた黒毛和牛の中から、食肉取引規格A、Bの4と5等級に格付けされた最高級ブランド。料理王国100選2020生鮮食品部門で「優秀賞」を受賞。



世界にはばたく「なめがたかんしょ」